

# USER REPORT

## 小島紙器株式会社

導入機種：RYOBI 924（ニスコーティングユニット、LED-UV印刷システム搭載）  
2012年9月ご導入



代表取締役社長 中嶋 理恵子 氏

即乾印刷と、高付加価値のニスコーティングを同時処理

### LED-UV 搭載 RYOBI 924 で パッケージ生産体制の最適化と 高付加価値化を実現

食品関連、電気部品、衣料などの幅広いジャンルのパッケージの企画から、デザイン、印刷、後加工までを一貫生産体制で応えている「小島紙器株式会社」。LED-UVを搭載したニスコーティングユニット付き4色印刷機 RYOBI 924で、パッケージ製品のリードタイム短縮と高付加価値化を図る。

の多様なニーズに応えることで、幅広い顧客の獲得に成功している。現在、同社では食品、電気部品、衣料関連などの幅広いジャンルを対象とし、独創的な商品やデザイン性の高いパッケージ製品をタイムリーに提案することで、差別化を図っている。

#### 独創的なパッケージ製品で お客様の心を掴む

小島紙器株式会社は地場産業である衣料品を入れる白箱の製造を目的として1954年に創業している。繊維の町として有名な羽生市において、学生服など衣料品の生産が増加するにつれて、箱の需要も順調に増加している。1964年には、白箱の製造だけでは将来が見込めないという予測から、オフセット印刷の設備を導入し、カラー印刷を含めた業容へと拡大させている。その後、高度成長時代を迎え、物を輸送するだけの目的でなく、商品PRの一環としてパッケージなど包装紙器の価値がさらに拡大していく。そのような中、同社では企画からデザイン、印刷、後加工まで最新鋭の設備を揃え、パッケージ製品の一貫生産体制を構築し、お客様

#### パッケージ生産体制の最適化を追求し、 LED-UV 機を導入

同社はLED-UV機を導入する前は油性印刷機で全てのパッケージ印刷を行っていた。油性印刷機でのパッケージ印刷はパウダースプレーのボタ落ちや裏付きの問題があった。また、十分乾かないうちに後加工に回すと、商品に傷が付いたり、後加工の機械への影響が考えられるため、印刷から最低でも1日以上、印刷物の乾燥に必要だった。こうした課題を解消するために、同社ではかねてよりUV化が必要であると考えていた。LED-UVを採用した理由については「LED-UVは同じUV乾燥でも水銀を使用しないので、国際的な環境規制の動向にも配慮したシステムであると感じました」と中嶋社長。



LED-UV搭載のRYOBI 924でパッケージ印刷のリードタイムを短縮



高品質のニス引き加工をインライン処理

## 「ニスコーティングの内製化で、納期面だけでなく情報管理という面でも有利であると考えました」

また、菊全サイズ機ではなくA全サイズのRYOBI 924を導入した理由については「当社の印刷物は、半截サイズや小さいサイズにカットして菊全機で印刷している場合が殆どでした。クライアントが在庫を持たず、小ロットで発注されるケースが増えてきているため、こうした状況の中、最もコストパフォーマンスの良いサイズがA全の924であるという判断をしました」(中嶋社長)

同社では印刷と同時に高品質なニスコーティングが行える、ニスコーティングユニットを924に採用している。「ニスコーティングユニットをつけて、4色印刷からニス加工まで一貫性を持たせることにしました。ニスコーティングの内製化で、納期面だけでなく、情報管理という面でも有利であると考えました」という中嶋社長。高品質のニス引き加工によって、差別化を図っていきたいとしている。

### パッケージ印刷のリードタイム短縮と、光沢のニス加工でお客様の好感触を得る

2012年9月に機械を導入して、2週間あまりで順調に稼働をさせることができたという同社では、現在、0.4mm～0.5mmの厚紙パッケージをメインにフル稼働させている。即乾とパウダーレスによる、リードタイムの短縮効果と後工程での傷やコストが解消されたことで、印刷部門だけでなく、後工程の部門からも負担が軽減されたというLED-UV機の導入成果を挙げている。また、ニスの品質についてもプレスコート加工に見劣りしない光沢が得られることで評価が高い。同社はRYOBI 924(LED-UV印刷システム搭載)の導入をお客様に披露するための内覧会を2012年11月に開催し、印刷・ニス加工からすぐに、打ち抜き、貼り加工まで行う一連の流れを紹介し、そのスピードと仕上がりの良さに対して、お客様から好感触を得られたという。「お客様の商品価値を高めるために、できるだけ企画やデザインに時間をあてたいと考えています。そのため、LED-UV機の即乾による生産時間の短縮は今後も大きな武器となります」と中嶋社長はLED-UV機の導入効果を強調している。



打ち抜きから貼り加工までの一貫生産体制

### デザイン効果を狙った様々なパッケージ商品をLED-UV機で提案

「UVでないといけない印刷、たとえばアルミ蒸着紙への印刷などを積極的にお客様に提案していきたいですね。すでにチョコレートのパッケージなど、食品分野に実績が出ています。ベタの白、網点の白の再現性も非常に良いです。それと、ニスコーターを装備していますから、全面ニスだけでなく、デザイン効果を狙ったスポットニスにも仕事を広げていきたいと思っています。用紙やニスを駆使した、色々なデザインに挑戦して、当社ならではのパッケージ表現を追究していきたいですね」とLED-UV搭載のRYOBI 924の今後の活用について中嶋社長は展望を語っている。



0.6mmまでの多様なパッケージ印刷に対応

#### 小島紙器 株式会社

住所 本社 埼玉県羽生市大字桑崎 981  
代表 代表取締役社長 中嶋 理恵子  
設立 1954年  
TEL 048-561-0741

<http://www.kojima-shiki.com/>



※記事内容は、2012年12月取材時の情報を基に作成しています。

## リョービMHIグラフィックテクノロジー株式会社

本社	〒726-0002 広島県府中市鞆町800-2	0847-40-1600
営業本部	〒114-0003 東京都北区豊島5-2-8	03-3927-3300
東日本支社	〒114-0003 東京都北区豊島5-2-8	03-3927-1031
札幌支店	〒062-0937 北海道札幌市豊平区平岸七条14-3-48	011-831-2501
仙台支店	〒983-0034 宮城県仙台市宮城野区扇町4-2-38	022-237-6210
新潟営業所	〒950-0993 新潟県新潟市中央区上所中1-2-12	025-384-0275
中日本支社	〒468-0034 愛知県名古屋市中白区久方1-145-1	052-807-1671
西日本支社	〒569-1135 大阪府高槻市今城町24-12	072-685-1171
高松営業所	〒761-8057 香川県高松市田村町1095-1	087-866-1051
広島営業所	〒736-0082 広島県広島市安芸区船越南3-7-29	082-823-0068
福岡支店	〒811-2305 福岡県糟屋郡粕屋町柚須107-1	092-623-5005

<http://www.ryobi-group.co.jp/graphic/>

■代理店